

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	書写台カーサひまわり 新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県姫路市書写台	構造	S造
用途地域	第二種中高層住居専用地区、防火地域	平均居住人員	1人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2021年5月17日
敷地面積	2,023 m ²	作成者	
建築面積	1,180 m ²	確認日	2021年5月17日
延床面積	3,045 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
「省エネルギー」・「防犯性」・「健康生活」・「地域住民との交流」を基本コンセプトに、建物デザイン、様々な建築仕様、設備計画を行い、誰もが快適で利用しやすい施設を創造する。		
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>全個室にバルコニーを計画し、日照が得られるように大きな開口部を設けた。 また、内装材にはF☆☆☆☆の建材を用いることで利用者が健康的な生活を送れる空間を創造する。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>高齢者住宅・高齢者デイ及び地域交流スペースにそれぞれ出入口を設けることで、各部門間の動線を明確に分離した。 また、地域交流スペースは交通量の多い西面に面して計画し連続した大きな窓を設けることで地域住民からの視認性を高めると共に気軽に立ち寄りやすい空間となるよう配慮した。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>敷地内通路は緩やかな傾斜路を設けることで、高齢者の方にも配慮した計画とした。 また、高齢者デイのポーチに面して車寄せを計画し、上部に庇を設けることで自動車の乗降の際、雨に濡れないよう配慮した。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>省エネ機器の多様化等による省エネ設計の建築物とすることで、施設全体の大幅な省エネルギーを計る計画とした。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>節水コマ、節水型便器の採用に加え節湯機器を積極的に採用することで、省資源、省エネルギーに寄与する。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>広告照明や、過度なライトアップ等は行わず、光害の抑制、省エネルギーに寄与する。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される